様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	九州歯科技工専門学校
設置者名	学校法人　斉藤学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	歯科技工士科	夜・通信	7	7	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	九州歯科技工専門学校
設置者名	学校法人　斉藤学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

希望者には、本校事務部に備え付けの理事一覧を閲覧させる。

２．学外者である理事の一覧表

常勤・ 非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	歯科技工所 代表取締役社長	令和５年12月１日から令和８年定期評議員会まで	経営全般のアドバイス
非常勤	都道府県歯科医師会顧問 歯科大学非常勤講師	令和５年12月１日から令和８年定期評議員会まで	専門学校の運営および歯科教育全般に関するアドバイス
非常勤	元大手総合商社役員	令和６年７月５日から令和８年定期評議員会まで	経営全般のアドバイス
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州歯科技工専門学校
設置者名	学校法人　斉藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年度、職員会議や教育課程編成委員会の議を経て、授業計画書(シラバス)が作成される。作成にあたっては、昨年度の授業内容の反省や最新の知見をなるべく反映させるようにしている。授業計画書に基づき、授業、実習を実施している。また、授業計画書(シラバス)は本校ホームページ(https://kyushigi.ac.jp/disclosure)に毎年４月頃に公開している。

授業計画書の公表方法	本校ホームページ (https://kyushigi.ac.jp/disclosure)

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)に基づき、授業、実習を実施するとともに、小テスト、レポートや製作物の提出など課しながら、学習意欲の把握を行っている。さらに、学則に記載のとおり、毎学期終わりに期末試験を行い、100 点を満点とし、60 点以上を合格基準として進級、卒業の要件としている。期末試験の受験資格は、講義、実習ともに時間数の 2/3 以上出席しているものに与える。試験実施後、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。 なお、進級と単位の認定は教授会（職員会議）の議を経て、校長が行う。最終時に２年以上在学し、76 単位以上を習得したものに卒業の認定を与えるとしている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績評価に関しては、優/A（80 点以上）・良/B（70 点以上 80 点未満）・可/C（60 点以上 70 点未満）・不可/D（60 点未満、再試験を実施することがある。）による段階的評価に加え、試験成績 90 点以上を GPA 4 点、80 点以上 90 点未満を GPA 3 点、70 点以上 80 点未満を GPA 2 点、60 点以上 70 点未満を GPA 1 点として、算出している。成績の分布状況の把握としては、各科目の成績に対して、平均点および学年順位を付けている。さらにはクラス人数（休学者等は除く）を４で除した整数（小数点以下四捨五入）を用いて下位四分位を算出して、成績の分布状況を相対的にも把握している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校学則に記載のとおり、進級と単位の認定は教授会（職員会議）の議を経て、校長が行う。2 年以上在学し、76 単位以上を習得したものに卒業の認定を与えることとしている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	九州歯科技工専門学校
設置者名	学校法人　斉藤学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ （https://kyushigi.ac.jp/disclosure）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
医療		医療専門課程	歯科技工士科		専門士	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	76単位	39単位	9単位	34単位	2単位	0単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	43人	0人	8人	8人	16人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年度、職員会議や教育課程編成委員会の議を経て、授業計画書(シラバス)が作成される。作成にあたっては、昨年度の授業内容の反省や最新の知見をなるべく反映させるようにしている。授業計画書に基づき、授業、実習を実施している。また、授業計画書(シラバス)は本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）に毎年4月頃に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業計画書(シラバス)に基づき、授業、実習を実施するとともに、小テスト、レポートや製作物の提出など課しながら、学習意欲の把握を行っている。さらに、学則に記載のとおり、毎学期終わりに期末試験を行い、100点を満点とし、60点以上を合格基準として進級、卒業の要件としている。期末試験の受験資格は、講義、実習ともに時間数の2/3以上出席しているものに与える。試験実施後、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。 なお、進級と単位の認定は教授会（職員会議）の議を経て、校長が行う。最終時に2年以上在学し、76単位以上を習得したものに卒業の認定を与え

るとしている。

卒業・進級の認定基準

（概要）

本校学則に記載のとおり、進級と単位の認定は教授会（職員会議）の議を経て、校長が行う。2 年以上在学し、76 単位以上を習得したものに卒業の認定を与えることとしている。

学修支援等

（概要）

学習や生活指導においては、クラス担任制を導入している。各学年に１名、担任を配置し、学生の出席状況の把握、修学状況の把握、及び修学支援、進路支援等を個別面談等により実施している。学修状況および出席状況を常に把握しながら、適宜、個別の面談を実施している。 また、必要に応じて保護者を含めた三者面談も実施している。

経済的支援については、日本学生支援機構（JASSO）、教育訓練給付金、企業奨学金をはじめとした制度の活用や、入学時に適用される本校卒業生による紹介者割引制度や本校実施の定期テスト等の規程の基準を満たした場合に適用される成績優秀者割引などがある。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 （100%）	0 人 （ 0%）	9 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）

（主な就職、業界等）

歯科技工所

（就職指導内容）

企業（歯科技工所）説明会、企業（歯科技工所）見学会

（主な学修成果（資格・検定等））

歯科技工士（国家資格）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	5 人	15.2%

（中途退学の主な理由）

体調不良、就学意欲の不足、進路変更など

（中退防止・中退者支援のための取組）
入学当初から、頻回に個人面談を実施し、指導している。必要に応じて保護者を交えた三者面談も実施している。
また、本校１階に歯科技工所を併設し、早期より歯科技工士としての未来像や目的意識を抱かせることで進路変更希望者が少しでも減るように努めている。

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
歯科技工士科	300,000 円	600,000 円	420,000 円	その他は「実習費」
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）

第三者評価の基本方針（実施方法・体制）

学校関係者評価委員のメンバーは、就職支援およびインターンシップ等の受入れを行う協力企業（3 名）や歯科業界関係者（1 名）の 4 名（定数 4）で構成されている。評価委員は、① 教育理念・目標、② 学校運営、③ 教育活動、④ 学修成果、⑤ 学生支援、⑥ 教育環境、⑦ 学生の受け入れ募集、⑧ 財務、⑨ 法令等の遵守、⑩ 社会貢献・地域貢献、⑪ 国際交流、⑫ 総評の観点について、本校の自己点検評価メンバー等より詳細な説明がなされた後に、学校評価を提出してもらう。
評価結果は、職員会議等で全教員・職員に共有され、次年度の学校運営や教育に活用・反映されるようにしている。

第三者評価の委員

所属	任期	種別
海外歯科技工所　代表取締役	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日（2 年）	企業等委員
歯科材料販売会社　代表取締役	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日（2 年）	企業等委員
歯科技工所　役員	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日（2 年）	企業等委員

歯科技工所　代表	令和 6 年 10 月 1 日～ 令和 8 年 9 月 30 日（2 年）	企業等委員、卒業生
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）		
（備考）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 本校ホームページ（https://kyushigi.ac.jp/disclosure）